

荒川水防新技術見学会を開催！

2017年は、
カスリーン台風から70年

荒川上流部改修から
100年
1918-2018

- ▶ 昨年9月に策定した荒川水系(埼玉県域)の減災に係る取組方針において、概ね5年で実施する取組の一つとして「**水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備**」を行うこととしている。
- ▶ 近年の水防団員の減少や高齢化などの諸課題に対応するための水防新技術について公募し関係者に紹介する『**荒川水防新技術見学会**』を開催した。
- ▶ 見学会では近年新技術として注目されている水のう・止水板などの新たな資材や土のう製作補助器、水陸両用車など幅広い新技術の展示、技術紹介がされた。
- ▶ 訪れた参加者は自治体の防災担当者や災害協定業者など約100名で、今後の水防新技術の導入に向けての一助となった。

日時:平成29年5月24日(水)
会場:荒川第一調節池(彩湖)

見学会に出展した企業及び水防新技術一覧

出展企業	水防新技術
(株)ナショナルマリンプラスチック	水のう
ミドリ安全(株)	水のう
ガ德里ウス・インダストリー(株)	止水板・水のう
一般社団法人リバーテクノ研究会	止水板・水のう
日本海洋整備(株)	防水シート
(株)YPSテック	土のう製作補助器
(株)鶴見製作所	排水ポンプ
(株)近代消防社	エアポート
(有)サポートマーケティングサービス	水陸両用車
トーハツ(株)	水陸両用車



● 荒川水防新技術見学会の開催状況



【加藤荒川上流河川事務所長】

◆ 昨今降雨の形態が変化しており、災害の激甚化が進んでいる中で、防災・減災に対する取組の重要性は日増しに高まっています。なかでも水防活動は地域の安全・安心を守るためには欠かせないものです。取組の一環として水防団等の水防活動支援・水防資機材の配備を目的に荒川水防新技術見学会を開催しました。この見学会が、水防団員の高齢化・減少といった諸課題への対応の一助となり、地域の方々の生命と財産を守る水防活動の充実強化に繋がることを期待します。